

? 「四万十塾」とは?

四万十塾では、地域づくりに対する意識の高揚や活性化に挑戦する人材の育成をはじめ、町内でさまざまな活動に「チャレンジする風土」の定着を目指した取り組みを進めていきます。

【具体的な施策】

①地域イノベーター養成講座

新たなアイデアや新しい価値を生み出したいなど地域に対する思いのある方々に対して、必要な知識や技術の習得を支援する連続講座を開催します。

②四万十ビジネスプランコンテスト

地域の課題解決や豊かな資源を活用したビジネスプランを募集し、挑戦する意欲ある人材の確保や地域の活性化を目指します。



▲地域イノベーター養成講座



▲40010 フィールドミーティング



▲農業者ネットワーク会議



▲新入社員合同研修

? 「産業振興塾」とは?

産業振興塾は、地域産業を支え発展させる人材を育成するため、町内外の知見を結集して志に応じた支援を行い、四万十町の産業の振興を図ります。

【具体的な施策】

①農業者ネットワークづくり

中山間地域の暮らしや産業を守り、次世代へと引き継いでいくため、町の基幹産業である農業を主体とした人的ネットワークづくりに取り組み、次世代の担い手、地域リーダーの創出を目指します。

②町内事業者人材育成支援事業

町内事業所の持続発展的な成長につなげるため、新たな研修制度などの充実を図り、次代を担う人材の確保・育成に向けた支援や、業種や地域を越えた同世代の交流機会の創出に取り組みます。

! 人材育成の三本柱!

本町では、3つの施策目標を掲げ推進していきます。

特色ある地域活動に
対する視線を充実させ、
地域の活性化に
挑戦する「四万十塾」

四万十町の明るい
未来に向け、子どもたちの
学習活動の充実を図る
「未来塾」

地域資源を生かし、
産業を支え、
発展させる人材を
育てる「産業振興塾」



四万十町では、「まちづくりは人づくり」と言われるように、協働を理解し、課題を的確にとらえて活動できる人材の育成や確保を目指すため、まちづくりに興味を持っていただけるさまざまな活動の提供に努めていきます。

【お問い合わせ先】 人材育成推進センター ☎22-3163



四万十町の人づくり

～まちの人材育成事業について～



? なぜ四万十町では、人材育成を進めているのか?

本町では合併以降、旧町村の一体感の醸成を図りつつ、均衡ある発展に資するさまざまな事業を推進してきました。しかし、その間にも少子高齢化に伴う人口減少が進み、少しずつ地域の元気が失われ、私たちの暮らしに大きな影響をもたらすことが懸念されています。

このような中、将来にわたり住み続けたい、住みたいまちであり続けるためにも、本町が目指す将来像の実現に向け、持続可能な新たなまちづくりの仕組みづくりに努め、人口減少克服と地方創生の推進が求められています。

このため、本町では今後のまちづくりの基盤を「人材の育成」としてとらえ、最重要課題として取り組むこととしています。

? 目指す人材像は?

地域の特性や可能性を知り、新たな価値を創造し、
志をもって明るい未来の実現に向かって挑戦する人材

さらに進展する人口減少社会を見据え、持続可能なまちづくりを進める上では、地域の実態や実情を知り、自ら挑戦する意欲を持ち地域を元気にする人材が求められています。

このような人材を育成・確保することが新しい可能性を拓き、本町の現在および未来を支える基盤づくりとなるもので、時代に適応した変化と元気をもたらします。



▲高知大学サッカー教室



▲町営塾スタッフ



▲高知大学出前公開講座

? 「未来塾」とは?

未来塾では、子どもたちがまちづくりを進める次代の人材として活躍していくため、家庭・学校・地域が連携した特色ある教育を推進していきます。

特に、町内高校の存続と魅力化を将来のまちの課題としてとらえ、持続可能な魅力ある学校づくりを支援するとともに、子どもたちが地域を知り、地域に愛着と誇りをはぐくむ学習活動の場を提供していきます。

【具体的な施策】

①高校応援大作戦（町内高校の存続とさらなる魅力化・活性化計画）

町内高校在籍生徒の放課後の学びの場である町営塾「じゅうく。」の運営や、学校生活の支援などを行い、地域で学ぶ生徒を応援しています。

②特色ある地域教育の充実

児童生徒の学ぶ意欲の醸成や家庭教育力の向上へのきっかけづくりなどを通じて、一人ひとりの夢・志を実現できる教育環境づくりを推進します。

CATV
8月放送予定

■行政放送(初回は午後6時45分から)

8/14～8/21 40010のたから(小鳩保育所・松葉川保育所)

8/21～8/28 役場からのお知らせ(健康福祉課・教育委員会)

8/28～9/4 役場からのお知らせ

9/4～9/11 学びの時間

9/11～9/18 ライフ with 図書館・役場からのお知らせ

〔お問い合わせ先〕 四万十ケーブルテレビ ☎22-1117

8月の納付納税は

町県民税(2期)
国民健康保険税(2期)
介護保険料(2期)
後期高齢者医療保険料(2期)

8月31日(木)までに
納付してください

夏休みイベント情報

8月13日(日)・8月14日(月)
プラバンアクセサリーをつくろう!

好評のプラバン教室を
夏休みも開催!
オリジナルのストラップ
やブローチをつくろう!
材料費: 200円

ほかにもイベントいろいろ!あそびにきてね!

企画展情報

企画展「これが海洋堂だ展 海洋堂
センムの60年」が開催中!
展示室にはあそべる「戦車コーナー」も!
戦車レースに挑戦してみよう!

◎ YOSHIKAZU-TAKAI

海洋堂ホビー館四万十 ☎29-3355

[営業時間] 午前10時～午後6時 [入館料] 高校生以上800円 小中学生400円

トンビさん
(本名: 池田十三生さん)

トンビさんの花木教室

トンビさんが四万十町の花木を紹介します☆

「遠山を守る会」「四万十あちこちたんね隊」
「須崎緑と水の会」などのボランティアで活躍中。

ガマズミ
スイカズラ科

◆見られる時期と場所

花期…5～6月 場所…身近な里山から山地まで

◆特徴

落葉の低木です。枝の先に小型の白い花を多数咲かせます。果実は晩秋に赤く熟します。11月頃、霜が降りてから渋みも抜け、甘酸っぱくなり食べられます。

子どもの頃、秋の楽しみで、通学の折、友達と白い霜をかぶった赤い実を食べました。

赤い果実はビタミンC、ポリフェノールを含み、美肌や疲労回復の効果があるそうです。

◀花

◀実

6月 学校給食食材の放射能測定				
	検査期間	セシウム134	セシウム137	ヨウ素131
窪川学校給食センター	6/1～7	不検出	不検出	不検出
大正学校給食センター	6/1～7	不検出	不検出	不検出
十和学校給食センター	6/1～7	不検出	不検出	不検出

実施日: 平成29年6月22日
検査機関: 株式会社 日本食品エコロジー研究所
食品分析センター

※不検出とは測定下限値未満(<1.0Bq/kg)であることを示しています。検査に使用する食材は、約1週間分の原材料(米・調味料を除く)です。一定量を混合試料にして検査します。なお、米については、検査済のものを購入しているため対象外としています。



新開町

しんがいまち



十 和・大正方面
から国道381号で窪川の街中に入る時に、コンビニエンスストアとホームセンターを過ぎ、すぐに四万十川を渡る。渡りきったところから新開町である。信号を右



吉見川が四万十川に合流する

整備に励む。まず、吉見川に橋を架け、現在の茂串町や本町一帯に家臣を住まわせることによって、交通と軍事の要衝であった窪川の警備体制を整えた。古溪城自体は、1615年の「一国一城令」で廃城となったのであるが、窪川山内家初代である一吉

折し吉見川を渡るまで、左手に迫る古溪山と吉見川に挟まれた三角地帯である。以前は、吉見川が四万十川に突き当たるような形になっていたのであるが、近代になって四万十川の流

れに沿って合流する形に変えられた。古溪山上には、慶長6年(1601年)土佐藩主山内一豊の命を受けて、

家老であった林勝吉(かつよし)が築いた古溪城があった。林勝吉は、この時、一豊から「山内」の姓と「一」の字を与えられ、山内一吉(かつよし)と称した。

一吉は、城の麓に土居(元は防御のための土塁のことであるが、中世以来、土塁で防御された屋敷のことをいう)を構えた。土居屋敷には山内家の住居の他、馬屋や武器庫などがあり、その周囲は土塀で囲まれていた。

これが新開町の始まりである。したがって、以前は新開町を「御土居(おどい/おんどい)」と呼んでいたらしく、ご年配の方々の中には今でもそう呼ぶ方もいらっしゃるようである。

さて、窪川村周辺35カ村を任された一吉は、この土居屋敷を拠点に周辺の



窪川山内氏が統治を任されていた頃の絵図の写し

現在の窪川の街の成り立ちは、新開町から始まったと言って良い。茂串山城(旧窪川町役場の南の茂串山上)があった戦国期には、まだ「街」とは言えなかった窪川は、一吉による古溪城築城と、それにともなつて麓に築かれた土居をスタートにして、いよいよ「街」となつていったのである。

「御土居」新開町には、現在71世帯、159人が暮らしている。

町のうごき

(6月30日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	8,327	2	男 3	5	14	10
女	9,302	-7	女 4	12	15	14
計	17,629	-5	計 7	17	29	24
世帯数	8,607	3	(6月中の届出)			
窪川地域	12,389人		大正地域	2,506人		十和地域 2,734人

四万十川の水質状況

	適正值(mg/l)	7月11日
リン酸	≤ 1.0	0.421
硝酸	≤ 0.5	0.567
アンモニウム	≤ 5.0	測定範囲以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.05
化学的酸素要求量	≤ 10.0	測定範囲以上

調査：大正(吾川)
資料：四万十高校自然環境部